

東京2020参画プログラム及び beyond2020プログラムについて

1 参画プログラムについて

組織委員会は、平成28年10月に東京2020参画プログラムにおける「公認プログラム」及び「応援プログラム」の両マークを公表した。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントへの参加やレガシー創出に向けた取組の促進を目的として、各団体が東京2020大会に向けて実施するイベントや事業を8つの分野に渡って組織委員会が認証する仕組みであり、認証を受けたイベントや事業は、参画プログラムのマークや「オリンピック・パラリンピック」等の文言を使用することができる。

本区においても、区民の気運醸成や大会への参加意識の向上等を目的として参画プログラムの活用を進めている。

2 公認プログラム 本区の事例

中央区新年子ども羽根つき大会

開催日：2017年1月14日（土）

開催場所：中央区立総合スポーツセンター

事業概要：日本の伝統文化である羽根つきに各種スポーツのルールを取り入れた小学生のスポーツ大会

認証分野：公認プログラム「スポーツ・健康」

実施内容：会場内の看板へのマークの記載



中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会

開催日 : 2017年3月16日 (木)

開催場所 : 中央区役所8階大会議室

事業概要 : 区内関係団体がオリンピック・パラリンピックに関する情報共有や連絡調整の強化を図るとともに、地域の自主的な取組の促進等を図ることを目的として開催する会議体

認証分野 : 公認プログラム「オールジャパン・世界への発信」

実施内容 : HPや会場内の看板、配布資料等へのマークの記載

オリンピック・パラリンピックに関する講演会

開催日 : 2017年3月16日 (木)

開催場所 : 中央区役所8階大会議室

事業概要 : オリンピック・パラリンピックに関する著名人や有識者を招いて、講演会を開催

認証分野 : 公認プログラム「スポーツ・健康」

実施内容 : チラシや会場内の看板等へのマークの記載

3 応援プログラムについて

現段階では認証対象が限られていることや申請手続が明らかにされていないため、都や組織委員会の今後の動向を注視し、適宜区民協議会等で周知していく。

※組織委員会では平成29年7月に応援プログラムの対象団体の拡大を検討中
(拡大予定の対象団体 : 自治体の外郭団体、町会・自治会、商店街、体育協会、商工会議所、公益財団・社団法人、一般財団・社団法人、社会福祉法人 等)

東京2020参画プログラム 各分野の事例

分野	イベント名（実施主体）	概要	開催期間	会場
スポーツ・健康	ジャパンウォーク in TOKYO-オリンピック・パラリンピアンと歩こう 2016秋（朝日新聞社）	競技会場予定地が集中する湾岸や、バリアフリーに配慮した運河沿いの2コースをオリンピック・パラリンピアンとともにウォーキングを行う。併せて近隣の小学校の体育館と校庭でシッティングバレーボール等の、障がい者スポーツ体験会を実施する。	2016年10月5日（水）～2020年12月31日（木）	アーバンドックららぽーと豊洲他
	中央区新年子ども羽根つき大会（中央区）	1ページ参照	2017年1月14日（土）	中央区立総合スポーツセンター
	オリンピック・パラリンピックに関する講演会（中央区）	2ページ参照	2017年3月16日（木）	中央区役所
街づくり	日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020（三井不動産㈱）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムやオリンピック・パラリンピアンを肖像を用いて街を大規模に装飾する。	2016年9月20日（火）～2016年10月10日（月）	日本橋・京橋
持続可能性	3R推進事業（千葉県）	ものを大切にする資源循環型ライフスタイル「ちばエコスタイル」（ちばレジ袋削減エコスタイル、ちば食べきりエコスタイル、ちばマイボトル・マイカップ推進エコスタイル）等の普及啓発及び県民・事業者等を対象に、3Rの普及促進シンポジウムを開催する。	2016年10月1日（土）～2020年12月1日（火）	幕張メッセ他
文化	幕開き 日本橋 ～東京2020文化オリンピックアードキックオフ～（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）	江戸の文化の発信地であり、五街道の起点にもなった日本橋から、文化オリンピックアードのキックオフを宣言し、全国津々浦々での参画を呼びかけるとともに、伝統×革新をテーマとした祝祭的なパフォーマンスによって、日本文化の魅力を国内外に発信する。	2016年10月7日（金）	日本橋 福徳の森特設ステージ
教育	三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020（三井不動産㈱）	当社が街づくりを進めるエリアの小中学校、加えて当社が運営する全国の商業施設でオリンピック、パラリンピアンによるスポーツ教室を行う。	2016年4月13日（水）～2020年12月31日（木）	日本橋
経済・テクノロジー	東京2020アイディアソン vol.1 テクノロジーでパラリンピックを盛り上げよう！（東京2020アイディアソン実行委員会）	車椅子バスケットボールをテーマとして掲げ、テクノロジーを活用して、東京2020大会の観戦者・視聴者を増やすアイデアを競い合う。	2016年11月27日（日）	虎ノ門ヒルズ
復興	読売新聞・報道写真展 ～リオ2016での九州出身オリンピックの輝きー九州復興への道しるべ～（読売新聞東京本社）	九州出身オリンピックの写真展。読売新聞写真部撮影の写真を出身県別に7会場で掲示し、オリンピック・ムーブメントと九州復興支援の機運を高めていく。	2016年11月17日（木）～2016年11月18日（金）	日本生命丸の内ビル他
オールジャパン・世界への発信	小中学生からのポスター募集（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）	7月～11月末の期間で小中学生からポスターを募集し、各学校から代表作品を組織委員会に対して提出していただき、代表作品は地方自治体主催のイベント等で展示する。	2016年10月1日（土）～2016年11月30日（水）	東京2020組織委員会公式サイト等
	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会（中央区）	2ページ参照	2017年3月16日（木）	中央区役所

beyond2020プログラム、始動！！

日本の魅力をすべての人へ

～beyond2020プログラムは、みんなが参加できる2020年以降を見据えた文化プログラムです～

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出す文化プログラムを「beyond2020（ビヨンドニーゼロニーゼロ）プログラム」として、認証の申請受付を開始します。

○日本文化の魅力発信を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出します。

○営利活動、非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動を対象とします。

○公的機関のほか、民間事業者、その他任意団体等幅広い方にご参画いただけます。

○認証を受けた事業・活動は、「beyond2020ロゴマーク」を使用することが出来ます。

※beyond2020ロゴマークは現在選考中です。平成29年1月中に発表を予定しております。

◇申請受付開始 平成28年12月26日（月）

※平成29年1月31日（火）以降に認証します。

◇申請方法

申請は、beyond2020プログラム事務局で受け付けます。

以下のbeyond2020プログラムサイトにある申請申込書をご提出ください。

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/beyond2020/index.html

＜beyond2020プログラムの認証要件＞

●日本文化の魅力を発信する事業・活動であること。

※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含んでいます。

●多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動であること

- ・ 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- ・ 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

【お問合せ窓口】

beyond2020 プログラム事務局 10:00～17:00（土・日・祝を除く）

電話番号：0570-022320

メールアドレス：shinsei@beyond2020program.jp

東京2020参画プログラムとbeyond2020プログラムの比較

		東京2020参画プログラム		beyond2020 プログラム
		東京2020公認プログラム	東京2020応援プログラム	
				
実施主体		東京2020組織委員会		国（内閣官房）
分野		「スポーツ・健康」「街づくり」「経済・テクノロジー」「復興」「持続可能性」「文化」「教育」「オールジャパン・世界への発信」		「文化」
主な対象団体	スポンサー企業	○	—	○
	国・JOC・JPC等	○	—	○
	開催都市 （東京都・都内区市町村）	○	—	○
	学校等	○	—	○
	地方自治体 （競技会場有り）	○	—	○
	地方自治体 （競技会場無し）		○	○
	非営利団体等		○ （※対象団体を拡大予定）	○
	非スポンサー企業			○
効果・特徴等		- 各団体における取組等と東京2020大会との一体感を創出 - 大会の気運醸成を推進する機会を創出		営利・非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動が対象

平成29年3月16日現在